

	A案	B案	C案
概要	・動と静をしっかりと区分したプラン	・中心に交流スペースを置き、多様な交流を生み出すプラン	・中心に交流スペースを置き、多様な交流を生み出すプラン (図書館を分散配置)
メリット	・一般図書、ヤングアダルト、児童図書が連続性ある配置 ・図書館とそれ以外の機能を区分することが可能 (空調等の管理がしやすい)	・図書館とそれ以外の機能を区分することが可能 (空調等の管理がしやすい) ・児童スペースとトイレの距離が近い	・カウンターから、全体の機能が見渡せ、管理しやすい。 ・児童スペースとトイレの距離が近い
デメリット	・児童スペースとトイレの距離が遠い。	・児童スペースがEV、エレベータに近く安全性の確保が必要 ・賑わい空間が分散しており静が確保しづらい。	・児童スペースが奥にあり、子育て世代が立ち寄りにくい ・図書館機能が分断される(フロア全体の一体管理が必要) (空調等の管理が複雑となる)
配置図	<p>※区画に合わせてゾーニングをしたものであり、必要な面積とは合致していない。</p>	<p>※区画に合わせてゾーニングをしたものであり、必要な面積とは合致していない。</p>	<p>※区画に合わせてゾーニングをしたものであり、必要な面積とは合致していない。</p>

※カウンター、バックヤードについては、荷物用エレベーターの位置を踏まえ、全案統一している。